

# 下野市観光振興計画

～四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市～

平成26年9月

下野市



はじめに

本市は、下野国分寺・国分尼寺跡、下野薬師寺跡といった歴史文化をはじめ、天平の花まつり・芋煮会などの旧町からの多彩なイベント、生産量日本一であるかんぴょうなど誇れる地域資源があります。

近年、日本では長引く経済の低迷や少子高齢化による人口減少社会を迎え地域が疲弊する中、政府ではこの閉塞状況を打ち破り、元気な日本を復活させるため、観光立国の実現を目指す観光立国推進基本計画を定め、国民経済の発展、国民生活の安定向上及び国際相互理解の増進を図っております。



本市におきましても、多彩な地域資源を魅力ある観光資源として磨き上げ、新たな観光交流を創出することで交流人口の拡大による地域の活性化を図るとともに、魅力的なまちづくりを目指すため、観光振興の基本的な施策や推進体制などを定めた「下野市観光振興計画」を策定いたしました。

計画の策定に当たりましては、各方面の代表の方による下野市観光振興計画策定委員会を立ち上げ、市民の目線により計画を検討していただきました。

こうした取組により、本市の観光を市民全体で盛り上げ、来訪者に本市の魅力を満喫していただくためのおもてなしを行い、もう一度訪れてみたいくなるまちづくりを目指すものといたしました。

計画の推進に当たりましては、市民の皆様や観光関係団体、関連事業者の皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり、貴重なご意見、ご提言をいただきました下野市観光振興計画策定委員各位をはじめ、ご協力を賜りました皆様に心から感謝を申し上げます。

平成26年 9月

下野市長 広瀬寿雄



保存整備が完成した下野国分寺跡

# 目 次

第1章 計画策定の基本的な考え方	
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置付け	1
3. 下野市の概要	2
4. 国・県の動向	3
5. 計画期間及び指標	4
第2章 観光を取り巻く現状と課題	
1. 国内観光の状況	6
2. 県内観光の状況	7
3. 下野市の観光の状況	9
4. 下野市の観光資源の特色	11
5. 下野市の観光の課題	14
第3章 下野市の観光振興の基本方針	15
第4章 下野市の観光振興における体系	
1. 施策体系～実現のための5つの柱	17
2. 施策の展開	
基本施策1 「まほろば」の環境を楽しむ	18
基本施策2 新しい楽しさを創る	25
基本施策3 市民主体の観光まちづくり	29
基本施策4 観光まちづくり産業を育む	33
基本施策5 観光まちづくり推進の仕組づくり	38
第5章 計画の推進	
1. 計画推進と進捗評価の考え方	44
2. それぞれの役割	44
資料1 下野市観光振興計画における各施策の行政所管課等一覧	46
2 計画策定までの経過	49
3 観光振興計画策定委員の意見集	50
4 下野市観光振興計画策定員会設置要綱	53
5 下野市観光振興計画策定委員会委員名簿	55

# 第1章 計画策定の基本的な考え方

## 1. 計画策定の趣旨

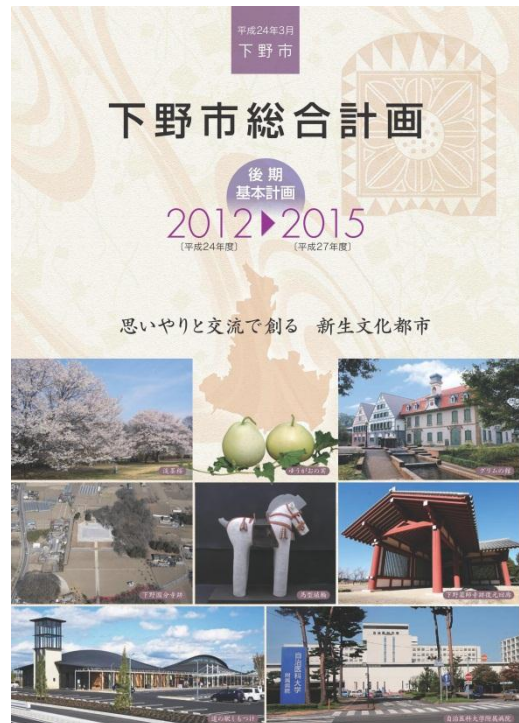
本計画は、下野市の地理的・歴史的特性と市内の各種施設等の地域の観光資源を有効活用することにより、人と人との交流による地域経済の活性化を図り、さらに、交流を通じて市民が下野市の魅力を再認識し、地域に誇りを持ち、生きがいにつながる観光による地域振興を推進するための取組を明らかにするものです。

## 2. 計画の位置付け

本計画は、下野市総合計画後期基本計画第2章第3節「シティーセールスの推進」に位置付けられている施策1「観光の振興」に関する具体的な計画として策定するものです。

また、観光の振興は行政だけで推進していくものではなく、市民、観光事業者等をはじめ、行政、下野市観光協会などが適切な役割分担のもと取り組んでいくことが重要です。

本計画は、互いに協働して取り組んでいくための基本方針や施策を提示し、本計画の効果的な推進を図るものです。



### 3. 下野市の概要

#### (1) 位置と地勢

下野市は、栃木県の中南部に位置し、都心から約85km圏にあり首都圏の一端を構成しています。

市内には、国指定史跡下野国分寺・国分尼寺跡や下野薬師寺跡といった、古代からの史跡が多く点在し、また、ドイツのディーツヘルツタールとの姉妹都市の締結により、ドイツの建物や風車などが整備され、特色ある地域文化の礎となっており、同時に、市民の誇りとなって豊かな郷土愛を育んでいます。

平成23年3月に、合併後の市民の一体感の醸成を図るとともに、本市のシティセールスの拠点として、市内を縦断する新4号国道沿いに「道の駅しもつけ」を整備しました。市内産の新鮮な農産物やそれらを使用した加工品を中心とした物販の展開により、オープン以来、県内トップクラスとなる多くの来場者を迎え入れています。

これら多くの来場者を、「道の駅しもつけ」のみの立寄りにとどめることなく、市内に多く点在する魅力ある観光スポットに導入する仕組みや仕掛けを作ることにより、交流人口と滞在人口の増加を図ることが必要です。

#### (2) 交通体系

下野市は、関東平野の北部、栃木県の中南部に位置し、古くから日光街道の通る交通の要衝となっていました。

現在、鉄道は南北にJR宇都宮線が縦貫し、北から石橋駅、自治医大駅、小金井駅の3つの駅があります。

道路は、国道4号及び新4号国道が南北に縦貫し、東西軸には国道352号が通っています。

また、北関東自動車道が市の北部を



通っており、最寄りの宇都宮上三川インターチェンジ（IC）、壬生 IC までは約 20 分の距離にあります。さらに、東北自動車道の鹿沼 IC、栃木 IC までも約 30 分の距離にあります。

これらの交通網により、首都圏から本市まで 1 時間半程度で来訪できる環境となっており、恵まれた交通網を有することで、高い優位性をもっています。

## 4. 国・県の動向

### (1) 国の動向

国は、平成 18 年 12 月に観光基本法を全部改正し、新たに「観光立国推進基本法」を制定しました。これにより、21 世紀の国の重要な施策として観光が位置づけられ、新たな「観光立国推進基本計画」が平成 24 年 3 月に閣議決定されました。

観光は国の成長戦略の柱の一つで、また、東日本大震災からの復興にも大きく貢献するものとして、基本計画の策定の方向性として、「観光の裾野の拡大」と「観光の質の向上」を掲げています。

### (2) 栃木県の動向

栃木県では、地域において観光振興による交流人口の拡大等により地域の活性化を図ることが求められるとともに、経済効果としての関連産業への波及や地域雇用の拡大にも期待が大きいことから、観光の振興には重点的な対応が求められています。県は観光の積極的な振興を図るべく、今後の施策展開等に対する基本指針を示すため、平成 23 年 3 月に「新とちぎ観光プラン」を策定しました。

観光振興の基本方針として、「効果的な情報発信と誘客宣伝の強化」、「新しい旅行分野の開拓」、「食をテーマとした誘客の推進」、「観光人材の育成」、「外国人誘客の推進」、「受入体制の整備と地域づくりの推進」を掲げています。

## 5. 計画期間及び指標

本計画は、平成26年度を初年度とする平成30年度までの5か年計画として取り組みます。なお、計画策定後は進捗状況の把握に努めるとともに、観光を取り巻く社会的情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

下野市総合計画後期基本計画での指標とされた平成27年度の観光客入込数である110万人は、平成23年度に達成しています。このため、新たに本計画で目標を再設定するものです。

この計画では、「道の駅しもつけ」をはじめとする既存の観光資源を複合的に活用し、観光振興を進めていきます。さらに魅力的な商品やサービス、飲食、おもてなしなどを提供し、満足度を向上させることにより、リピーターを増加させることを目指します。

また、平成25年6月に内閣府によって示された「政府の経済財政政策と改革の基本方針」の中では、中長期的な実質国民所得の目標について2%を上回ることであったことから、これに伴い観光分野を含む支出の増加も期待されます。

こうした考え方にに基づき、本計画においても年2%の増加を見込み、計画期間の最終年の平成30年における下野市観光入込客数（注）の目標を、平成24年比10%増の267万人とします。

（注）「観光入込客」とは、日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者で、「観光地」や「行事、祭り、イベント」を訪れた者

下野市観光入込客数年次別目標数 (単位：万人)

年	26年	27年	28年	29年	30年
目標数	247	252	257	262	267
延べ増加数	4	9	14	19	24

※平成24年の観光入込客数243万人（観光入込客統計（観光庁））を基準とします。

（1万人未満四捨五入）



※第2章における観光入込客数は、栃木県の観光入込客数調査の数値(約300万人)を採用していますが、栃木県の調査は平成26年で終了するため、ここでは、国の観光入込客数統計における数値(暦年)を採用しています。

平成24年の栃木県の調査数と比べ国の観光入込客数は同年比で約57万人の差が生じていますが、国の観光入込客数は恒常的な利用者を除くことから、対象となる施設が異なるためです。(保健福祉分野の温浴施設、スポーツ施設等は対象としない。)

「道の駅しもつけ」イメージキャラクター

カンピくん

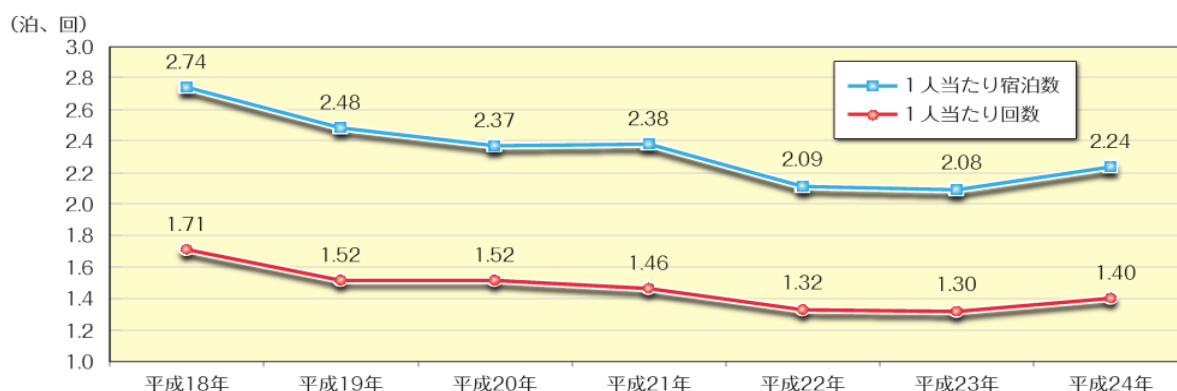


## 第2章 観光を取り巻く現状と課題

### 1. 国内観光の状況

#### (1) 国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移

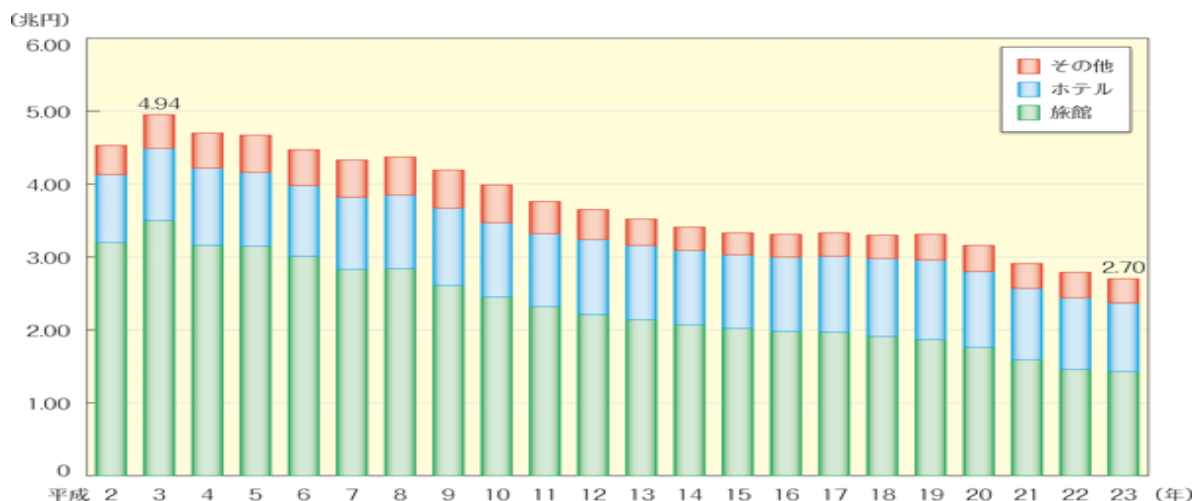
平成24年の国民一人当たりの国内宿泊観光旅行回数は1.40回（前年比7.7%増）であり、一人当たりの宿泊数は2.24泊（同7.7%増）でした。また、日本人の国内観光旅行者数は、日帰り旅行については延べ2億430万人（前年比3.8%増）となりました。いずれも、昨年を上回り、東日本大震災前の水準と比べてもほぼ同じ又は上回る結果となりました。



（観光庁「旅行・観光消費動向調査」による（平成24年度の数値は暫定値））

#### (2) 宿泊業の市場規模の推移

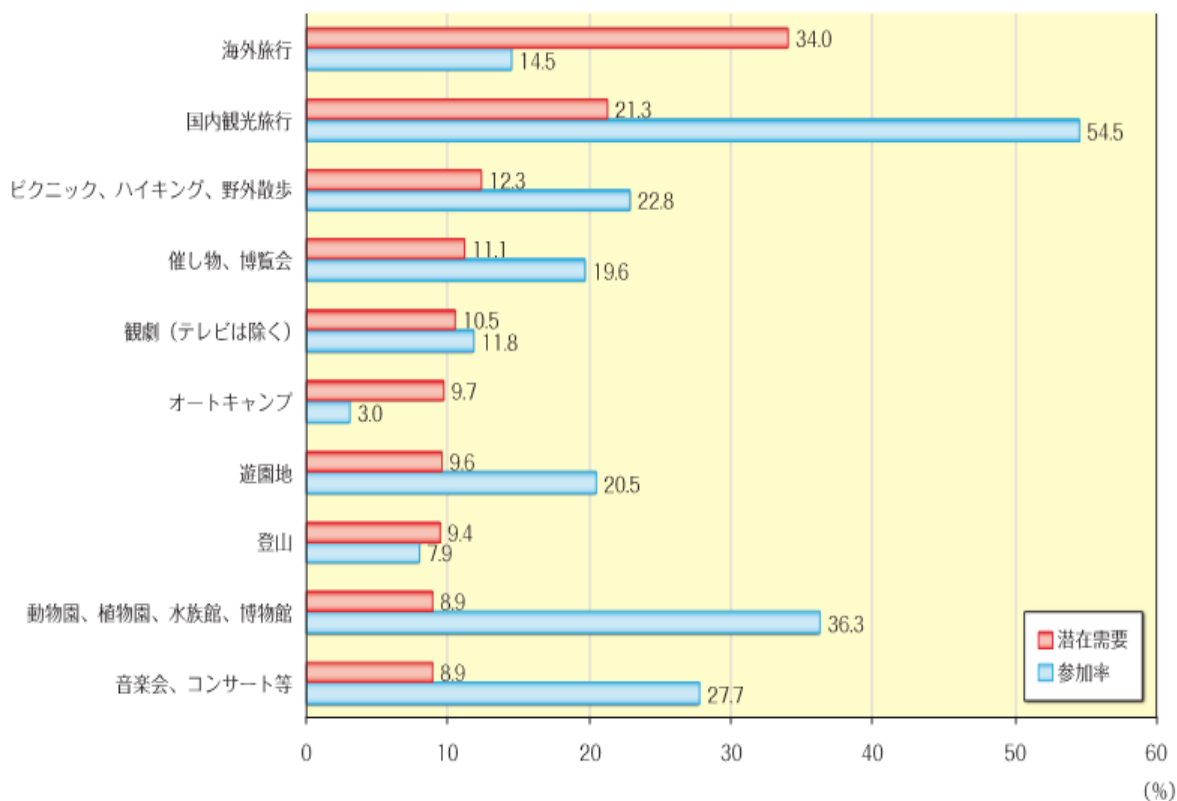
我が国の宿泊業の市場規模は、平成3年に4.94兆円を記録した後は一貫して縮小傾向が続いており、平成23年には2.70兆円と45.3%の減少となっています。



（レジャー白書2012（公益財団法人日本生産性本部編）に基づき観光庁作成）

### (3) 余暇活動の潜在需要上位10種目

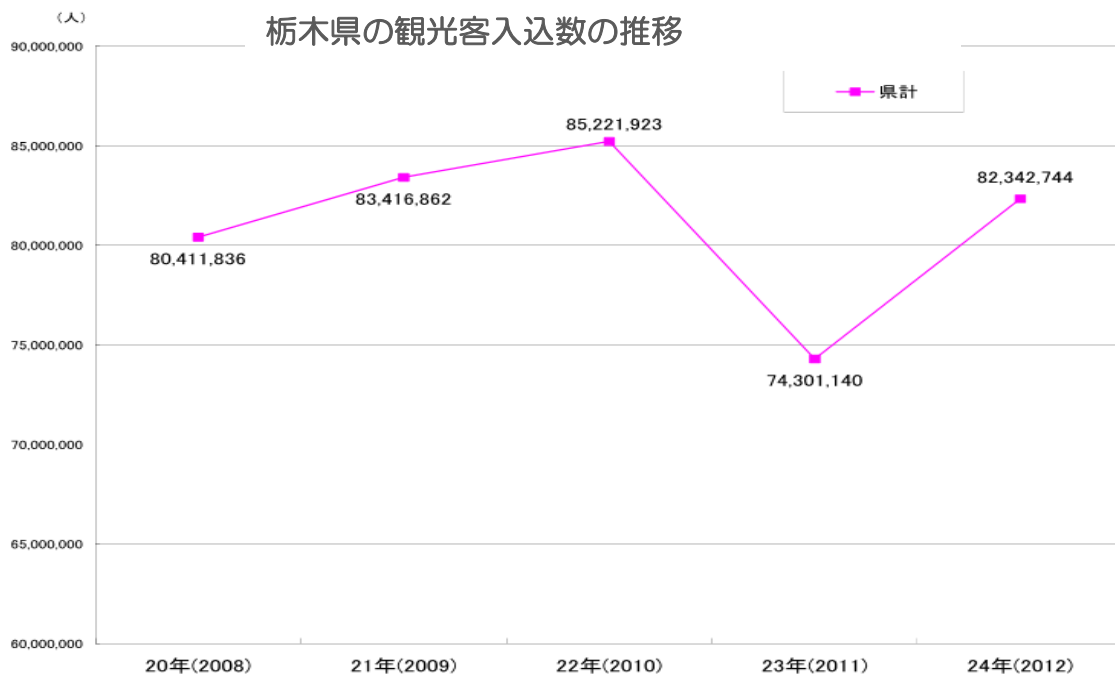
余暇活動の潜在需要を見ますと、潜在需要では海外旅行が1位、国内観光旅行が2位となっていますが、参加率をみると国内観光旅行が1位となっており、実際の余暇活動では国内観光旅行を選択していることがわかります。



## 2. 県内観光の状況

### (1) 栃木県の観光客入込数の推移

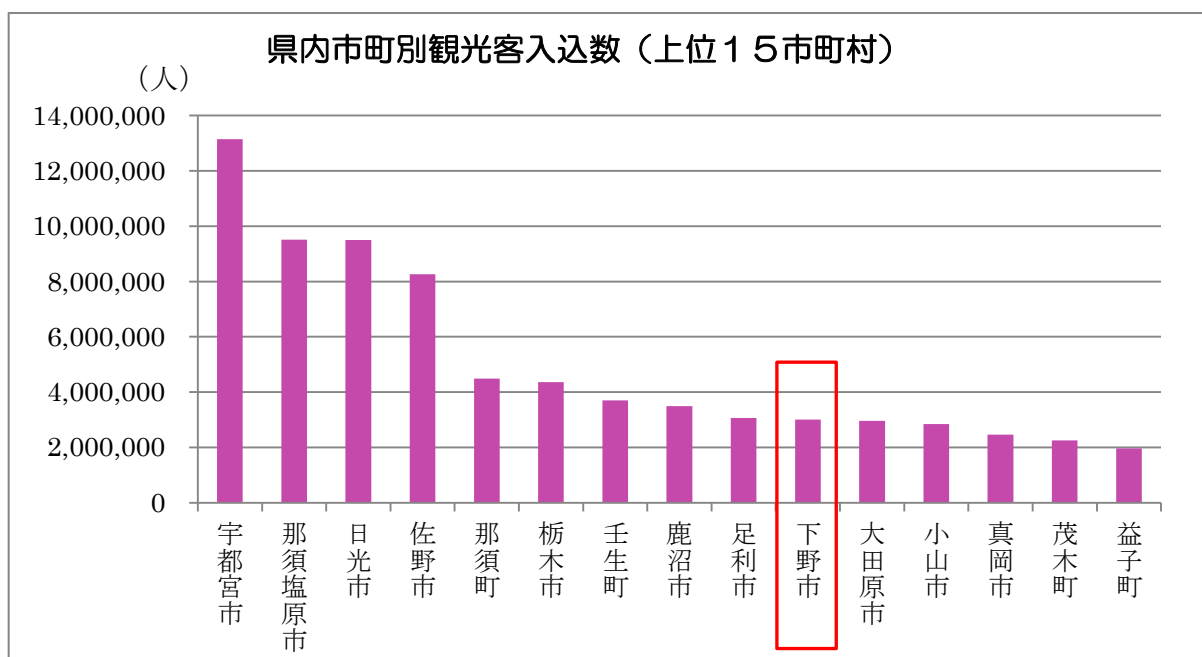
平成22年までは、順調に入込数が増加してきましたが、東日本大震災の影響もあり平成23年は前年と比べて約1,092万人減と大幅な落ち込みとなりました。しかし、平成24年には8,234万人と804万人の増加となり、今後も増加することが期待されます。



(平成24年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査より)

## (2) 県内の市町別観光客入込数

市町別にみると、宇都宮市の1,314万人(県全体の構成比16.0%)が最も多く、次いで那須塩原市952万人(県全体の構成比11.6%)、日光市950万人、佐野市826万人、那須町449万人の順となり、下野市は300万人で26市町中10位(県全体の構成比3.6%)となっています。



(平成24年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査より)

### 3. 下野市の観光の状況

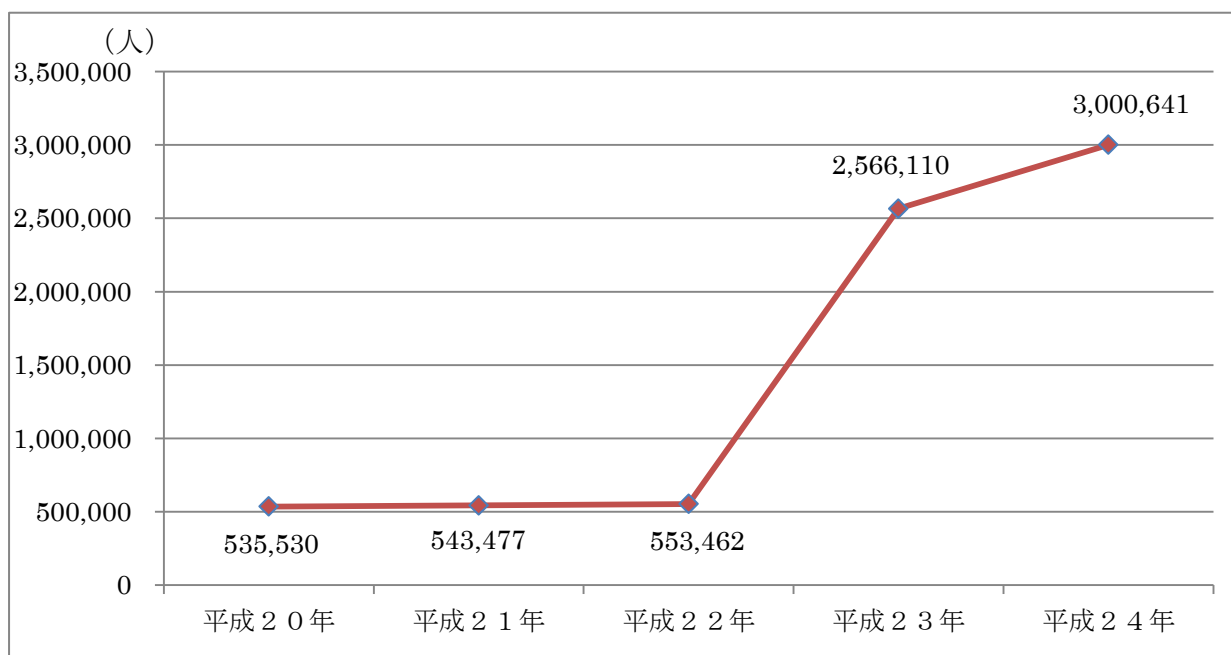
#### (1) 下野市観光客入込数の推移

平成22年までは、年間50万人台の水準で推移していましたが、平成23年3月に「道の駅しもつけ」が開業したことにより、一気に250万人台となり、約200万人の増加となりました。平成24年には300万人を越え、観光客入込数は増加傾向となっています。

しかしながら、増加の大きな要因となっている「道の駅しもつけ」も開業以来3年を経過し、同様の施設も近隣に建設されたことから、今後は今までのような大幅な観光客入込数の増加を期待することは厳しい状況です。



道の駅しもつけでの買物の様子

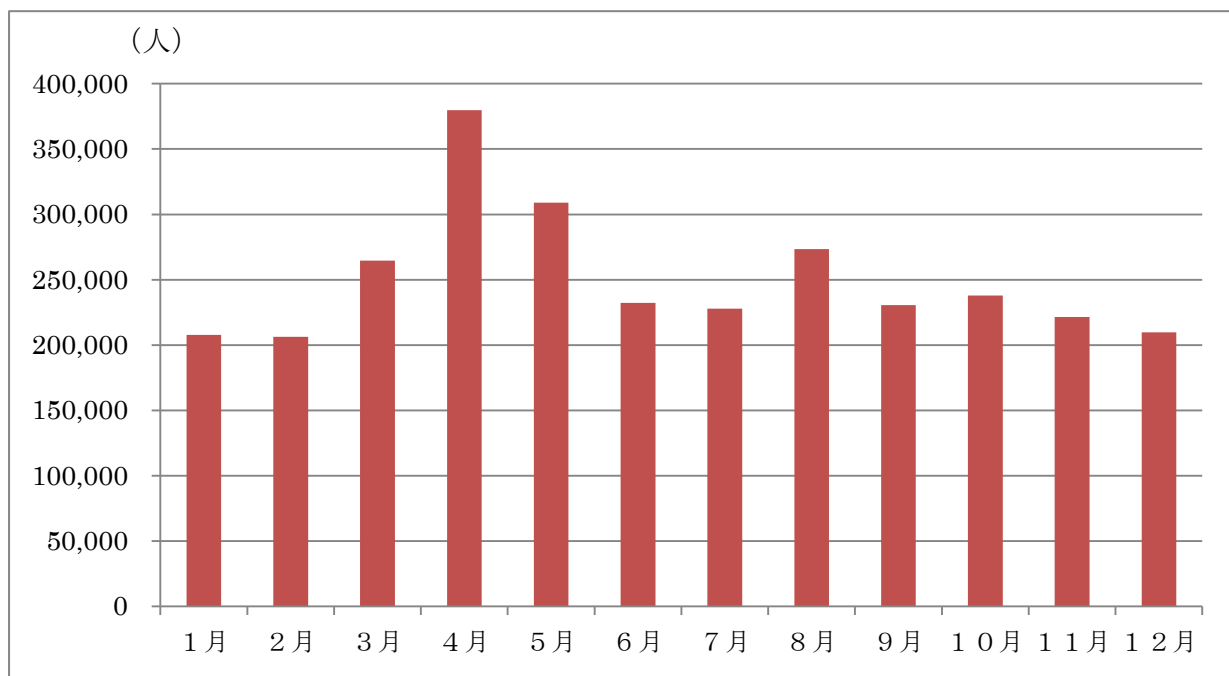


(平成24年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査より)

※ここでは、従来下野市で公表していた栃木県の観光入込客数調査の数値を採用していますが、栃木県の調査は平成26年度で終了するため、第1章第5節の観光入込客数年次別目標数では、国の観光入込客数統計における数値を採用しています。

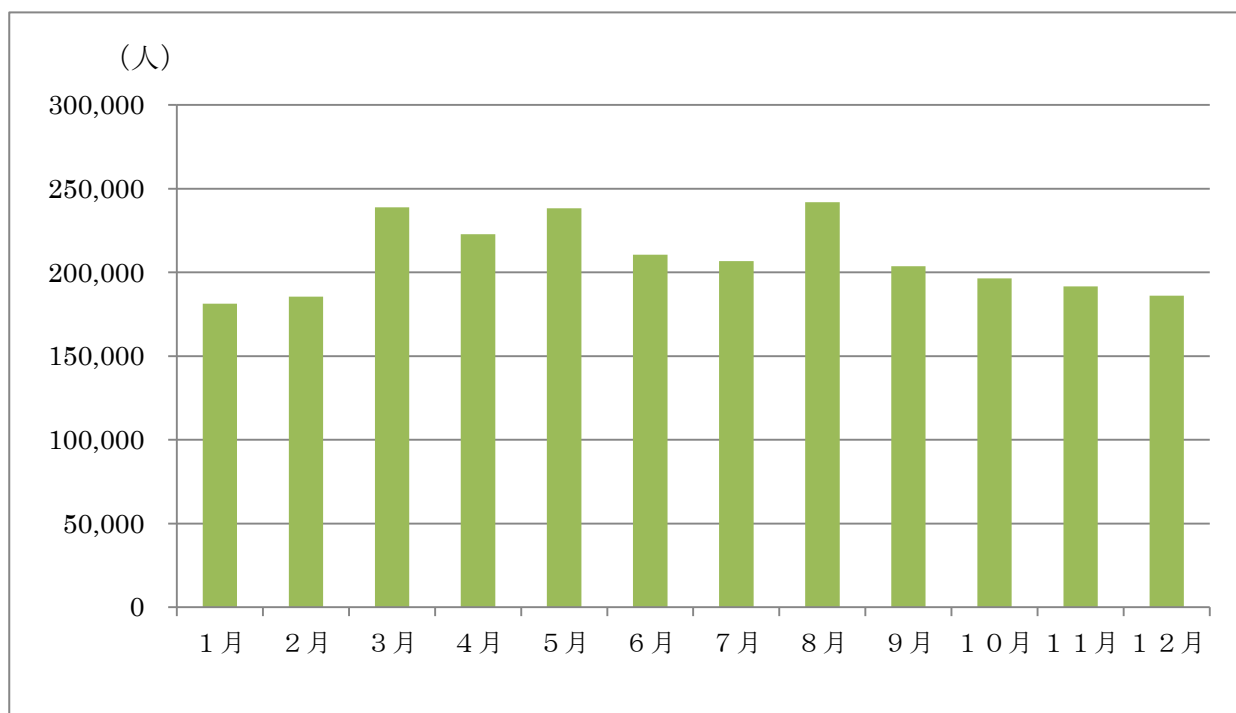
## (2) 下野市月別観光客入込数（平成24年）

下野市の月別観光客入込数については、4月に「天平の花まつり」が開催されることから、月別では最も多い入込数となっています。また、8月も全国的な動向と同様に、多くの企業・学校が夏季休業となることから入込数が多い傾向にあります。



## (3) 「道の駅しもつけ」月別利用者数（平成24年）

年間を通して月間20万人前後の利用者がありますが3月～5月、及び8月が多めとなっており、下野市の傾向と同様なものとなっています。



## 4. 下野市の観光資源の特色

### (1) 歴史と史跡 【古代からの歴史浪漫】

国指定史跡である下野国分寺・国分尼寺跡、下野薬師寺跡等の遺跡をはじめとした歴史文化が現代まで脈々と息づいており、下野市における観光の特色のひとつとなっています。



下野国分尼寺跡

#### 国分寺地区

下野国分寺跡、下野国分尼寺跡、甲塚古墳、オトカ塚古墳、国分寺愛宕塚古墳、山王塚古墳、丸塚古墳、伝紫式部墓、現国分寺五輪塔、北台遺跡（推定東山道跡）、小金井一里塚 ほか

#### 石橋地区

孝謙天皇神社、開雲寺、児山城跡、華蔵寺、星宮神社 ほか

#### 南河内地区

下野薬師寺跡、薬師寺復元回廊、安国寺、六角堂、地蔵山、三昧場、御鷲山古墳、藤麿墳、薬師寺八幡宮、天狗山雷電神社、龍興寺、道鏡塚、鑑真和尚之碑、薬師寺城跡、三王山南塚 1・2号墳 ほか

### (2) 施設 【学習とふれあいの施設】

温浴施設や歴史を知るための資料館、ドイツ風の建物であるグリムの館や年間約250万人の来訪者を誇る「道の駅しもつけ」など、特色のある施設がさまざまなサービスを提供しています。

ゆうゆう館天平の湯（露天風呂）、ふれあい館温水プール、グリムの森・グリムの館、民俗資料館「夜明け前」、オアシスポップ館、下野薬師寺歴史館、栃木県立しもつけ風土記の丘資料館、栃木県埋蔵文化財センター、道の駅しもつけ、天平の丘公園、



別処山運動公園、大松山運動公園、国分寺運動公園、蔓巻公園(オートキャンプ場)、  
JR石橋駅前からくり時計 ほか

### (3) 歳時記 【多彩なイベント】

春のシーズン中約20万人が訪れる天平の花まつりをはじめとして、夏の花火と納涼踊り・盆踊り、秋には直径2.5mの大鍋を用い約3千食分の芋汁を提供する天平の芋煮会、冬の風物詩となっている幻想的なグリムの森イルミネーションなど四季を通じて多彩なイベントが開催されています。



坊っちゃん列車

天平の花まつり、下野薬師寺跡史跡まつり、天平の菊まつり、天平の芋煮会、八幡宮秋まつり、納涼踊り花火大会・盆踊り、産業祭、薬師祭、下古山星宮神社太々神楽、かかし祭り、アメニティパーク桜まつり、みんなの祭りおみこし広場、エコライフまつり、天平マラソン、かんぴょうまつり、グリムの森イルミネーション ほか

### (4) 自然 【豊かな眺望・景勝】

関東平野の北部に位置し、東に鬼怒川と田川、西に姿川が流れる高低差の少ない、古来より開けた平坦で安定した自然災害が少ない地域であり、日光連山や筑波山、眺望のよい日には遠く富士山が望めます。また、環境省の絶滅危惧種に指定されているトウサワトラノオの保全地もあります。



トウサワトラノオの花



筑波山、男体山と日光連山、大平山、富士山、サイクリングロード（姿川・田川・鬼怒川）、祇園原の松林、トウサワトラノオ ほか

## （５） 農産物と地産地消 【多品目の農産物・多くの直売所】

生産量日本一を誇るかんぴょうをはじめとして、ほうれんそう、たまねぎ等の露地野菜、きゅうり、トマト、イチゴ等の施設園芸が営まれ、多品目の農産物が生産されます。また、これらの生産物を販売する直売所も多く設けられ、生産者と消費者との交流も図られています。



ちぢみほうれん草

### 農産物

かんぴょう、米、イチゴ、きゅうり、キャベツ、なす、はくさい、ほうれんそう、レタス、ねぎ、たまねぎ、にんじん、ごぼう、かぶ ほか

### 直売所・農村レストラン

下長田ふれあい直売所、JA おやま「四季彩」、中大領「やさいの停車場」、ふれあいショップ国分、かたかご亭、JAおやま国分寺農産物直売所、しばなん直売所、JAうつのみやグリーンセンター、レストハウスしもつけ ほか

下野市は、数多くの古代遺跡、施設、多彩なイベント、おだやかな自然環境、豊富な農産物など恵まれた環境にあることから、これらを活用し、目指すべき将来像を明らかにして、効果的な観光施策の展開を図ります。

## 5. 下野市の観光の課題

### 課題1 地域資源の磨き上げの不足

下野市には下野薬師寺跡やこれをPRする下野薬師寺歴史館、下野国分寺・国分尼寺跡、これに隣接する栃木県立風土記の丘資料館など、古代からの史跡に関わる観光スポットや、ドイツの建物をイメージしたグリムの館があります。また、市内各地域では、各地域の特色ある伝統的な郷土芸能をはじめ、寺社や地域コミュニティによるお祭りがあります。これらの資源にさらなる磨きをかけ、魅力を持たせることが必要です。



グリムの館

### 課題2 点在する地域資源の連携

市内を縦断する新4号国道に設置された「道の駅しもつけ」には、オープン当初より多くの利用者があり、この利用者を、「道の駅しもつけ」の立寄りにとどめることなく、市内の観光スポットやお店への誘導や、市内に3つあるJR駅を発着地点とした市内を周遊できる仕組みづくりが必要です。

### 課題3 観光資源の掘り起こし

下野市の観光事業は、既存の観光施策を維持、踏襲した活動が中心となっていました。その多くは、「天平の花まつり」や「天平の芋煮会」のような従来からの観光イベントの実施でありました。今後は、新たな来訪者を迎えるため、まだ知られていない観光資源の掘り起こしが必要です。

### 課題4 市民参加の仕組

来訪者にとって、旅先で会う人とのふれあいは、その土地の印象を決定する重要なポイントになります。市民が来訪者を迎え入れる「おもてなしの心」の醸成を図るとともに、市民が下野市の魅力を理解し、それを積極的に伝えたり、下野市の魅力を守り育てる意識を高めることが必要です。

### 第3章 下野市の観光振興の基本方針

下野市の新しい観光の未来を開くため「観光まちづくり」が求められています。「観光まちづくり」とは、文字通り「観光」と「まちづくり」との融合を考えたものです。「住んでいる人がそれぞれの地域で自分たちの生活を楽しみ、そこに訪れた人にもその楽しみを味わってもらう」、これが新しい観光の考え方です。暮らしやすく誇りのもてるまちをつくることは、環境や文化、そこに住む人、訪れる人、すべての暮らしや心を豊かにすることにつながります。このように新しい地域の可能性を拓くのが「観光まちづくり」の目的です。



天平の丘公園 子宝橋

すなわち、市民が地域の持つ価値に気づき、それを磨いて誇りとして共有し、それを来訪者にも提供することで地域を活性化させる。そういう地域の中から湧き上がるような観光開発の意義と可能性を探るのが観光まちづくりの考え方であり、その結果「住んでよいまち、来てみてよいまち」をつくることにつながります。

下野市は温暖な気候に恵まれ、災害は少なく、平地林、広大な田畑、水辺の四季の豊かな自然を擁し、遠く古代からつながる歴史と文化を伝える、まさに「まほろば」(注) と言うにふさわしい環境を持っています。この環境を市民が日常的に



グリーントウンしもつけ調整池 薬師ヶ池

楽しむ暮らしを見  
つけ、さらにそれら  
の良いところを磨  
いて誇りにまで高  
め、訪れる人を迎え  
る交流の資源とし  
て活かすことを、市  
民とともに考え、

さらに来訪者の力も借りて、さらなる可能性を拓いて行く。これがこれからの下野市における観光振興の方向性であると考えます。

(注) まほろば：「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味の日本の古語

## 目指すべき将来像

四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市

この環境をさらに磨いて、人が輝き、地域が輝くまちを創ります。

そして訪れた人がもう一度来たくなるまちにします。

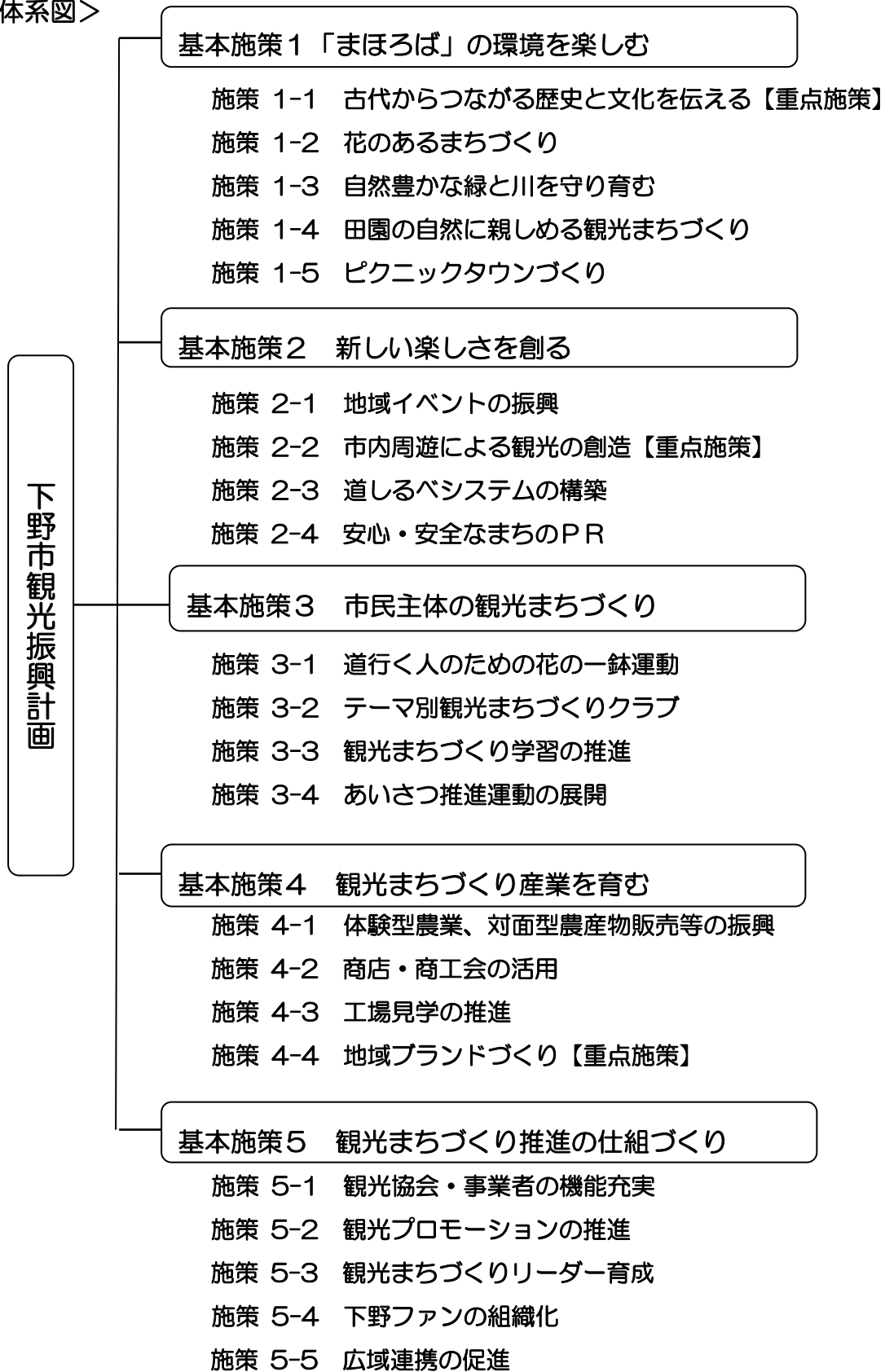


こうちゃん（甲塚古墳出土 馬形埴輪）

# 第4章 下野市の観光振興における体系

## 1. 施策体系 ～ 実現のための5つの柱

<体系図>





## 2. 施策の展開

### 基本施策1 「まほろば」の環境を楽しむ

下野市は、温暖な気候に恵まれ、平地林、広大な田畑、水辺の四季の豊かな自然を擁し、遠く古代からつながる歴史と文化を伝える、まさに「まほろば」と言うにふさわしい環境に包まれています。

まずはこの環境の中での暮らしを市民自らが楽しむことを考え、そしてそれらの良いところを磨いて誇りにまで高め、訪れる人を迎える交流の資源として活かすことを推進します。

(注) まほろば：「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味の日本の古語



### 施策 1-1 古代からつながる歴史と文化を伝える 【重点施策】

#### 事業(1) 誇れる歴史と文化の伝承

古代から自然環境の良いこの地に、薬師寺や国分寺が建てられ、その跡は国指定史跡として整備されています。

下野薬師寺跡は回廊の一部が復元され、隣接地には「下野薬師寺歴史館」があり発掘された資料や当時の復元模型などが展示されています。また、下野国分寺・国分尼寺跡周辺は公園として整備され、県の施設「しもつけ風土記の丘資料館」では、県内の埋蔵物などを見ることができ、当時の様子を感じることができます。

これらの歴史的な財産を理解し、この地を現代にいたるまで守り築いてきた先人の苦勞を知るとともに、未来に誇れる地にしていきます。



下野薬師寺復元回廊

#### ○ 展開事例

- ・国指定史跡下野国分寺・下野国分尼寺跡、下野薬師寺跡の保存整備事業
- ・しもつけカルタの普及推進

## 事業（２）歴史に親しむプロジェクトの実施

下野国分寺・国分尼寺跡の周辺に整備した天平の丘公園や下野薬師寺跡周辺の歴史の広場などでは、歴史的特性を生かしつつ、花を愛でたり、地元の食を堪能するイベント等を開催し、多くの観光客を誘致します。

### ○ 展開事例

- ・史跡を活用したイベントの開催（天平の花まつり・菊まつり、下野薬師寺跡史跡まつり）

※○は主な実施主体

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）誇れる歴史と文化の伝承	実施	→	→	→	→	○			○
（２）歴史に親しむプロジェクトの実施	実施	→	→	→	→	○	○	○	

## 施策 1-2 花のあるまちづくり

### 事業（１）花のあるまちづくり

四季に応じた花に彩られるまちは、住民の安定性を象徴し、訪れる人々に安心感と癒しを与えてくれます。まほろばをイメージする下野市では、癒しの空間を演出するたくさんの花で、訪れる人を迎えます。

市内の公共施設（公園、図書館、公民館、学校など）を中心とした花いっぱい事業から、市全体へと事業拡大を図ります。

### ○ 展開事例

- ・花いっぱい事業
- ・万葉植物園の再整備



駅前通り商店会の花いっぱい事業

## 事業（２）咲く花マップの作成

桜やあじさいなどの四季折々に咲く花をマップにまとめ、しもつけ花マップを作成し、市民はもとより来訪者に情報を発信します。

- 展開事例
  - ・天平の丘公園花広場桜マップ及び夜明け前広場桜マップ、淡墨街道桜マップの充実
  - ・しもつけ花マップの作成



## 事業（３）花の名所休憩施設整備

天平の丘公園や姿川アメニティパークに代表される桜の花や、下野薬師寺跡の梅の花など市内で楽しむことのできる花の名所に、ベンチなどの休憩施設を設置することにより、ピクニックや散策、スケッチや写真撮影などの楽しみ方ができるよう整備を進めます。

- 展開事例
  - ・公園等施設の整備、修繕、維持管理等

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 花のあるまちづくり	実施	➡	➡	➡	➡	○	○	○	
(2) 咲く花マップの作成	実施	➡	➡	➡	➡			○	○
(3) 花の名所休憩施設整備	実施	➡	➡	➡	➡				○



## 施策 1-3 自然豊かな緑と川を守り育む

### 事業（１）緑のエリアの観光資源化

天平の丘公園の平地林をはじめ、グリムの館周辺の森、（仮称）三王山地区公園整備に伴う緑のエリアの適正な管理を行い、観光資源として有効に活用する取組を進めます。

#### ○ 展開事例

- ・天平の丘公園整備事業
- ・（仮称）三王山地区公園整備事業
- ・大松山運動公園拡張整備事業



朝日を浴びる姿川

### 事業（２）川と水辺を守る活動

川をきれいにするにより、自然が守られ、さらに市民の心に「ふるさと」をつくることができます。自然豊かな川と水辺を守るため、「姿川クリーン作戦」のようなボランティアによる環境を守る活動をより充実させていきます。



姿川クリーン作戦

#### ○ 展開事例

- ・道路河川愛護活動
- ・姿川サイクリングロード除草活動
- ・河川公園除草活動
- ・姿川クリーン作戦

### 事業（３）自治体連携による河川の浄化活動

市内を流れる河川の上流域の自治体と連携し河川の浄化活動の取組を推進します。

#### ○ 展開事例

- ・鬼怒川、小貝川クリーン作戦
- ・鬼怒川上流流域下水道事業

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 緑のエリアの観光資源化	実施	→	→	→	→		○		○
(2) 川と水辺を守る活動	実施	→	→	→	→	○	○		
(3) 自治体連携による河川の浄化活動	実施	→	→	→	→				○

## 施策 1-4 田園の自然に親しめる観光まちづくり

### 事業（1）農産物や田園風景を観光資源とした活用

市内にはたくさんの田畑があり、田では良質の米が収穫され、畑からは、生産量日本一を誇る「かんぴょう」をはじめ、地元はもちろん首都圏へ出荷される多品目の野菜が生産されています。これら豊かな田園風景や生産の様子を観光資源として活用します。

#### ○ 展開事例

- ・下野市の魅力フォトコンテストの実施
- ・駅からハイキングの開催
- ・下野ブランドの推進
- ・天平の芋煮会



地元産の食材を使った天平の芋煮会

### 事業（2）自然環境関連団体との連携

カワセミの生態観察、ホタルの里づくりや、絶滅危惧種植物のトウサワトラノオの保全など、自然環境に関わる団体との連携による自然に親しむまちづくりを推進します。



トウサワトラノオの保全地

#### ○ 展開事例

- ・トウサワトラノオ保全管理事業
- ・農地水環境保全活動支援事業

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 農産物や田園風景を観光資源とした活用	実施	➡	➡	➡	➡	○	○	○	
(2) 自然環境関連団体との連携	実施	➡	➡	➡	➡	○			○

## 施策 1-5 ピクニックタウンづくり

### 事業（1）ピクニックマップの作成

市内を流れる姿川の水辺は、お弁当をもって散策するのに最高のスポットです。川沿いには蔓巻公園やアメニティーパークなどシートを広げのんびりするのに最適なスポットが連なっています。また、姿川、田川、鬼怒川にはそれぞれサイクリングロードが整備され、自転車でピクニックに出かけることもできます。駐車場が整備された公園や、道の駅しもつけ、市内のJR駅などを起点とするモデルコースを作成し、おいしいものを食べたり、地元特産品のお土産を買えるようなピクニックマップづくりを進めます。

- 展開事例
  - ・ピクニックマップづくり



姿川サイクリングロード

### 事業（2）観光カレンダーの作成

一般社団法人下野市観光協会で開催されているフォトコンテスト「下野市の魅力」に応募された魅力あふれる写真を活用し、カレンダーの作成に取り組めます。カレンダーは、従来の紙へのプリントにこだわらず電子カレンダーなど多くの人に手軽に利用していただけるよう検討します。



フォトコンテストの様子

- 展開事例
  - ・観光カレンダーの作成



### 事業（3）観光自転車の整備

高低差の少ない平坦な市内の特性を活かすために、観光自転車の利用箇所を拡大し、公共交通機関のない観光スポットへのアクセスの向上を図ります。

- 展開事例
  - ・観光自転車の整備



観光自転車

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) ピクニックマップの作成	検討	➡	実施	➡	➡			○	
(2) 観光カレンダーの作成	検討	➡	➡	実施	➡			○	
(3) 観光自転車の整備	実施	➡	➡	➡	➡			○	



下野国分寺周辺散策イラストマップ

## 基本施策2 新しい楽しさを創る

新しい地域イベントを発掘し、市内観光スポットをつないだストーリーやテーマのある周遊ルートを設定するとともに、安心して散策できるよう看板等を整備し、新しい魅力を創出します。

### 施策 2-1 地域イベントの振興

#### 事業（1）小さなイベントの発掘

従来の観光ガイドマップに掲載されていない、地域の伝統的な民俗文化事業や小さなイベントを発掘し、これらの育成振興と支援を図ります。

##### ○ 展開事例

- ・各地域で行われているイベント、まつり等のPR用データベースの作成

#### 事業（2）市民イベントの応援

各団体で実施されているイベントのPRや、備品貸出など、市民イベントへの応援事業の展開を図ります。



かかし祭り

##### ○ 展開事例

- ・市民イベントへの備品（テント、イス、着ぐるみ）等の貸出し

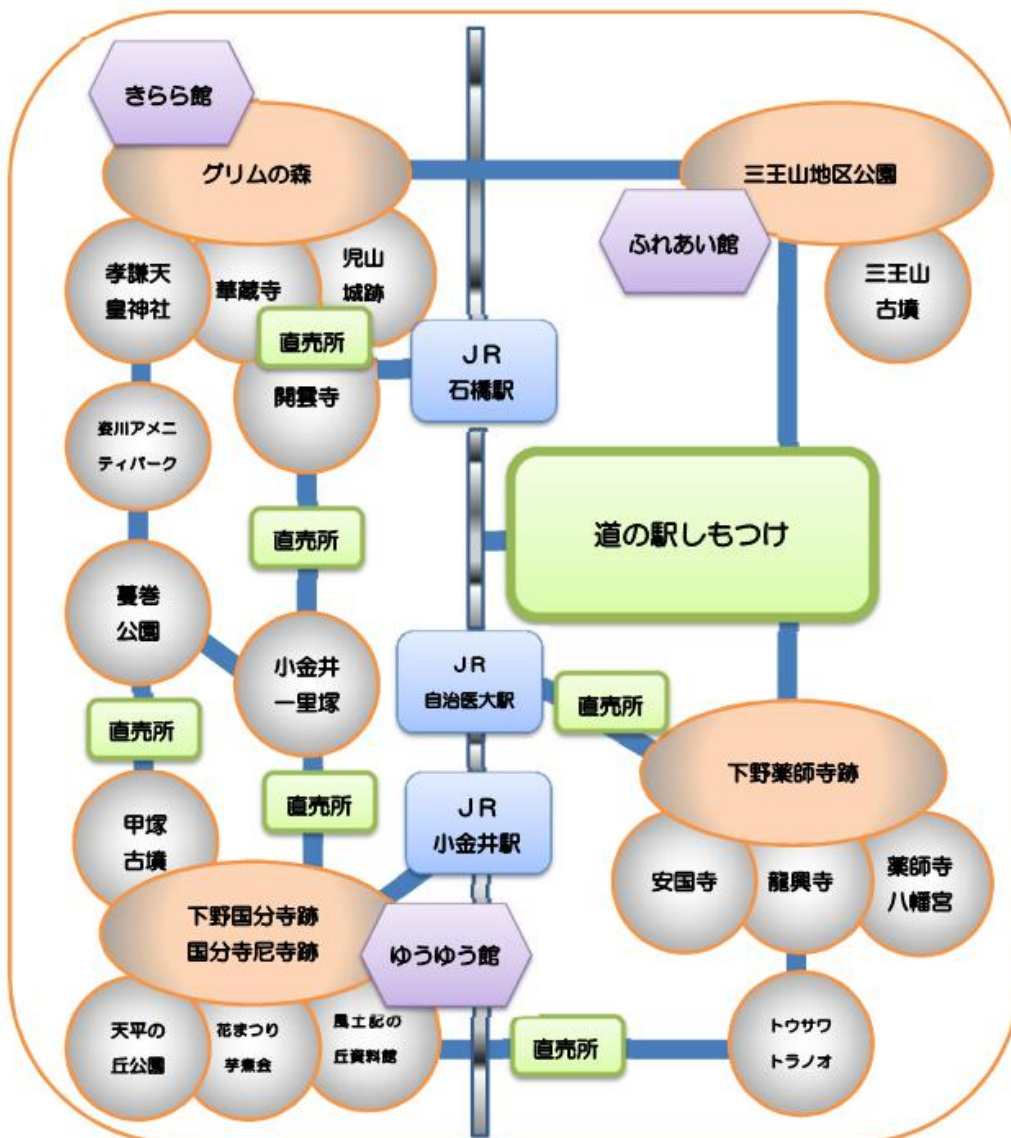
事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（1）小さなイベントの発掘	実施	➡	➡	➡	➡			○	
（2）市民イベントの応援	実施	➡	➡	➡	➡			○	○

## 施策 2-2 市内周遊による観光の創造【重点施策】

### 事業（1）ストーリー性のある周遊ルートの創出

観光資源には、それぞれ歴史的背景や由緒がありますが、それらが関連するテーマで結びつくことにより、観光資源としての輝きがさらに増します。このため、ストーリーやテーマのあるルートづくりを推進し、魅力あふれる周遊ルートを創出します。

#### 《観光資源の連携のイメージ》



#### ○ 展開事例

- ・ 関連性のある史跡を結ぶ周遊ルートの検討

## 事業（２）観光ルートの再構築

従来からある花まつりや芋煮会、下野国分寺・国分尼寺跡、下野薬師寺跡などの観光資源と、新たな観光スポットとなった「道の駅しもつけ」、今後整備される予定の「(仮称)三王山地区公園」などを新たに結びつける観光ルートを再構築します。

- 展開事例
  - ・ 駅からハイキング（JR東日本との共催）



駅からハイキングの受付

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1)ストーリー性のある周遊ルートの創出	検討	→	→	実施	→			○	○
(2)観光ルートの再構築	検討	→	→	→	実施			○	○

## 施策 2-3 道するベシシステムの構築

### 事業（１）観光案内看板等の整備・充実

駅ロータリーや観光地等の交通案内をわかりやすい表示にして、利用者の利便を図るなど、観光案内看板等の整備・充実を進めます。

また、市内のJR駅を出発地点とする、歴史・文化、花、建築などテーマ別の多様なハイキングコースの設定を行うとともに、これらに基づいたわかりやすい表示や道するべの整備を推進します。

- 展開事例
  - ・ 観光案内看板整備事業の推進



観光施設案内看板



## 事業（２）オアシスポッポ館のインフォメーション機能の強化

小金井駅前のオアシスポッポ館のインフォメーション機能を強化し、観光情報の提供に努めます。

- 展開事例
  - ・オアシスポッポ館公開端末の利用促進
  - ・Wi-Fi機器の整備



事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 観光案内看板等の整備・充実	実施	➡	➡	➡	➡				○
(2) オアシスポッポ館のインフォメーション機能の強化	実施	➡	➡	➡	➡			○	○

## 施策 2-4 安心・安全なまちのPR

### 事業（１）安心感の持てるまちPR事業

市民や来訪者に、自然豊かで災害が少なく、自治医科大学など医療が充実している安心・安全なまちの良さをPRします。



自治医科大学附属病院

- 展開事例
  - ・市・観光協会HP、市広報紙によるPR
  - ・小冊子「こんなにすごいぞ下野市！  
～魅力・実力ランキング～」の発行

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 安心感の持てるまちPR事業	実施	➡	➡	➡	➡			○	○



## 基本施策3 市民主体の観光まちづくり

これまでの観光は、観光産業の振興と考えられてきましたが、観光関連の業者や行政だけでなく、市民をはじめとして、交通事業者、文化芸術関係者など様々な考え方や価値観の異なる多種多様な主体の参画を推進します。

### 施策 3-1 道行く人のための花の一鉢運動

#### 事業（1）花によるお出迎え活動

地域や沿道のグループにより、駅前通りや観光施設の周辺など、来訪者が訪れる道路や広場などにプランターや植栽による花植えを行い、来訪者にやさしく温かい下野市の魅力を感じてもらおう活動を推進します。

- 展開事例
  - ・駅前広場花いっぱい事業の推進

#### 事業（2）景観向上活動

個々の家庭でも、できる限り玄関先や窓辺など、道行く人の目に留まる場所に花や緑の鉢を置くなど、街角の景観の向上に努めます。

- 展開事例
  - ・生垣奨励補助事業の推進
  - ・緑化推進事業の普及



鉢植えの設置

#### 事業（3）オープンファーム・オープンガーデン

オープンファームやオープンガーデン（注）の可能性について検討を進めます。

（注）オープンファームやオープンガーデン

田畑などの農場や自宅の庭を、一定期間一般の人々に公開すること。

- 展開事例
  - ・下野市市民農園事業

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 花によるお出迎え活動	実施	➡	➡	➡	➡		○	○	
(2) 景観向上活動	実施	➡	➡	➡	➡	○			○
(3) オープンファーム・オープンガーデン	検討	➡	➡	➡	実施	○	○	○	

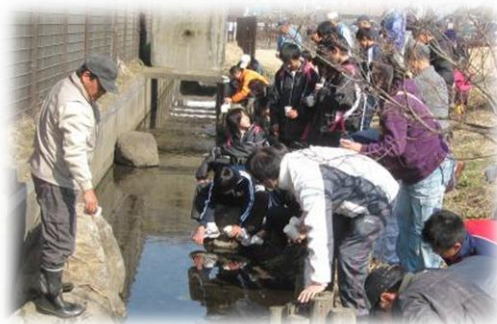
### 施策 3-2 テーマ別観光まちづくりクラブ

#### 事業（1）観光まちづくりにかかわる仕事を開発

花守（注1）、川守（注2）など、市民がかかわることのできる観光まちづくりにかかわる仕事（ボランティア）を開発します。

（注1） 公園や道路、個人宅の花壇などの草花の世話をし、維持管理してくれる個人や市民団体など

（注2） 河川や水路などの水辺環境を守り、維持管理してくれる個人や市民団体など



ホタルの幼虫の放流会

#### 事業（2）テーマ別観光まちづくりクラブの育成

自然や音楽、文化など、それぞれのテーマを得意分野とする人たちの活動を推進し、観光まちづくりに取り込むとともに、テーマ別のまちづくりクラブを育成します。



Y o uがおネットのトップページ

- 展開事例
  - ・市民活動支援サイト  
YOUがおネット
  - ・市民力養成講座

### 事業（3）ボランティアスタッフの活動の場の提供

多くの来訪者を迎える天平マラソンなどのスポーツイベント、天平の丘公園やグリムの森などにおける文化イベントで、ボランティアスタッフの活躍の場を拡げるとともに、観光ボランティアスタッフを開拓します。

- 展開事例
  - ・天平の花まつり観光ガイドボランティア
  - ・天平マラソン大会ボランティア
  - ・下野薬師寺ボランティア
  - ・天平の芋煮会ボランティア



芋煮会ボランティアによる芋剥き

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 観光まちづくりにかかわる仕事を開発	検討	➡	➡	実施	➡			○	○
(2) テーマ別観光まちづくりクラブの育成	実施	➡	➡	➡	➡				○
(3) ボランティアスタッフの活動の場の提供	実施	➡	➡	➡	➡			○	○

### 施策 3-3 観光まちづくり学習の推進

#### 事業（１）郷土学習の推進

学校教育や市民の生涯学習の中で、郷土学習と観光によるまちづくりの学習を推進します。

○ 展開事例

- ・ 小学校副読本としての「下野市の伝説」を活用した郷土学習
- ・ 「下野市ふるさとかるた」を活用した学習
- ・ 観光まちづくり講座、平地林体験学習



下野市ふるさとかるた

#### 事業（２）しもつけ検定事業

下野市の歴史や文化などの観光資源を再認識し愛着をもってもらうため、下野市ならではの場所、物、人などに関する検定事業の取組を検討します。

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）郷土学習の推進	実施	→	→	→	→	○			○
（２）しもつけ検定事業	検討	→	実施	→	→			○	

### 施策 3-4 あいさつ推進運動の展開

#### 事業（１）あいさつ推進運動の展開

市広報紙、HP、ポスターなどの広報媒体を使い、あいさつ推進運動を展開し、市民同士や来訪者とのコミュニケーションを増やし、市民全員が観光大使となるくらいの意識をもって、来訪者におもてなしの心を見せられるよう地域づくりを展開します。

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）あいさつ推進運動の展開	検討	実施	→	→	→	○	○	○	○

## 基本施策4 観光まちづくり産業を育む

観光振興を通じ、市内のみならず市外からの交流人口を増やすことにより、農業、商業、工業などの分野で産業を活性化させることができます。また、地域の魅力ある特産品を掘り起し、下野ブランドとしての付加価値を付けPRすることにより、下野市の産業振興を推進します。

### 施策 4-1 体験型農業、対面型農産物販売等の振興

#### 事業（1）体験型農業・対面型農産物販売の実施

農業公社や地域の農家との連携により体験農業を推進します。また、対面型農産物販売の推進により交流人口の増加を図ります。

- 展開事例
  - ・ 市民農園
  - ・ 野菜直売所
  - ・ 学校における農業体験
  - ・ いしばし軽トラ市



石橋庁舎前での軽トラ市

#### 事業（2）「道の駅しもつけ」における下野市産農産物等の提供

年間約250万人の来訪者がある「道の駅しもつけ」において、下野市産の新鮮な野菜や加工した生産物を提供することにより、市内外へのPRを推進するとともに、産業の振興を図ります。



道の駅しもつけ



事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 体験型農業・対面型農産物販売の実施	実施	→	→	→	→		○		○
(2) 「道の駅しもつけ」における下野市産農産物等の提供	実施	→	→	→	→	○	○		○

## 施策 4-2 商店・商工会の活用

### 事業（1）地元商店等の育成

オリジナル商品の開発や、作る様子を見せながら販売するような街角の工房型店舗、地元産農産物等を使用した飲食店など、特色ある地元商店・飲食店を育成することにより他地域との差別化を図ります。

- 展開事例
  - ・ かんぴょう消費拡大支援事業
  - ・ 下野市共通商品券の発行



地元産食材を使用したしもつけ丼

### 事業（2）空き店舗の有効活用

空き店舗の活用を進め、若者や女性企業者によるチャレンジショップや、子供たち（幼小中）などの作品展示の場とすることにより、来訪者の増加を図る取組について検討します。

- 展開事例
  - ・ 空き店舗活用事業
  - ・ 創業資金融資制度
  - ・ 女性起業家創業資金融資制度

### 事業（３）商工会との連携

下野市商工会、石橋商工会と連携し、イベント等を実施するなど観光まちづくりを推進することにより、地元商店、企業の活性化を図ります。

○ 展開事例

- ・下野市産業祭
- ・イブニングライズいしばし
- ・まちなか賑わいまつり



下野市産業祭

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）地元商店等の育成	実施	➡	➡	➡	➡		○		○
（２）空き店舗の有効活用	実施	➡	➡	➡	➡		○		○
（３）商工会との連携	実施	➡	➡	➡	➡		○	○	○

### 施策 4-3 工場見学の推進

#### 事業（１）工場見学の推進

工場見学などを実施する企業に対してのサポートや申し込みの斡旋、PRを行うことにより、市民の企業への認知度を高めるとともに、観光の一つとして展開していきます。

○ 展開事例

- ・社会科見学



小学生の社会科見学

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）工場見学の推進	実施	➡	➡	➡	➡		○		○

## 施策 4-4 地域ブランドづくり【重点施策】

### 事業（１）下野市の魅力のPR

各種イベントでのPR、チラシ・ポスターの作成、県のアンテナショップ「とちまるショップ」でのPRを行います。また、口コミによるPRを推進するため下野ブランドサポーターを活用し、下野市の魅力を発信します。

#### ○ 展開事例

- ・とちまるショップへの参加
- ・天平の花まつり、天平の芋煮会でのPR
- ・下野ブランドサポーターによる情報発信



とちまるショップでの  
トップセールス

### 事業（２）かんぴょうPR活動

市広報紙、HP等によるPRを行うとともに、生産量日本一である「かんぴょう」を使用した料理教室を開催し、かんぴょうの消費拡大に取り組みます。



かんぴょう簡単レシピ保存版

#### ○ 展開事例

- ・食のオープンスクール
- ・かんぴょう消費拡大支援事業
- ・しもつけかんぴょうまつり
- ・かんぴょう簡単レシピ保存版

### 事業（３）下野ブランド推進事業

下野ブランドに認定されている既存のブランド認定品のほか、新たなブランド品の発掘・開発を進めるとともに、道の駅しもつけなどでの販売展開により市内外に広くPRを推進していきます。下野ブランド戦略統一コンセプト「ディスカバーしもつけ アピールしもつけ」を推進します。



下野ブランド認定品



○ 展開事例

- ・「下野ブランド」パンフレット作成
- ・市・観光協会HP、市広報紙による周知

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1)下野市の魅力のPR	実施	➡	➡	➡	➡	○		○	○
(2)かんぴょうPR活動	実施	➡	➡	➡	➡			○	○
(3)下野ブランド推進事業	実施	➡	➡	➡	➡	○	○		○



工芸技術 本場結城紬  
（下野ブランド認定）

## 基本施策5 観光まちづくり推進の仕組づくり

観光まちづくりを推進するために、様々な主体が集い相談するための場づくり、企画づくり、人材の発掘・育成を進めます。さらに来訪者の協力を得て、観光まちづくりに活かす仕組づくりを推進します。

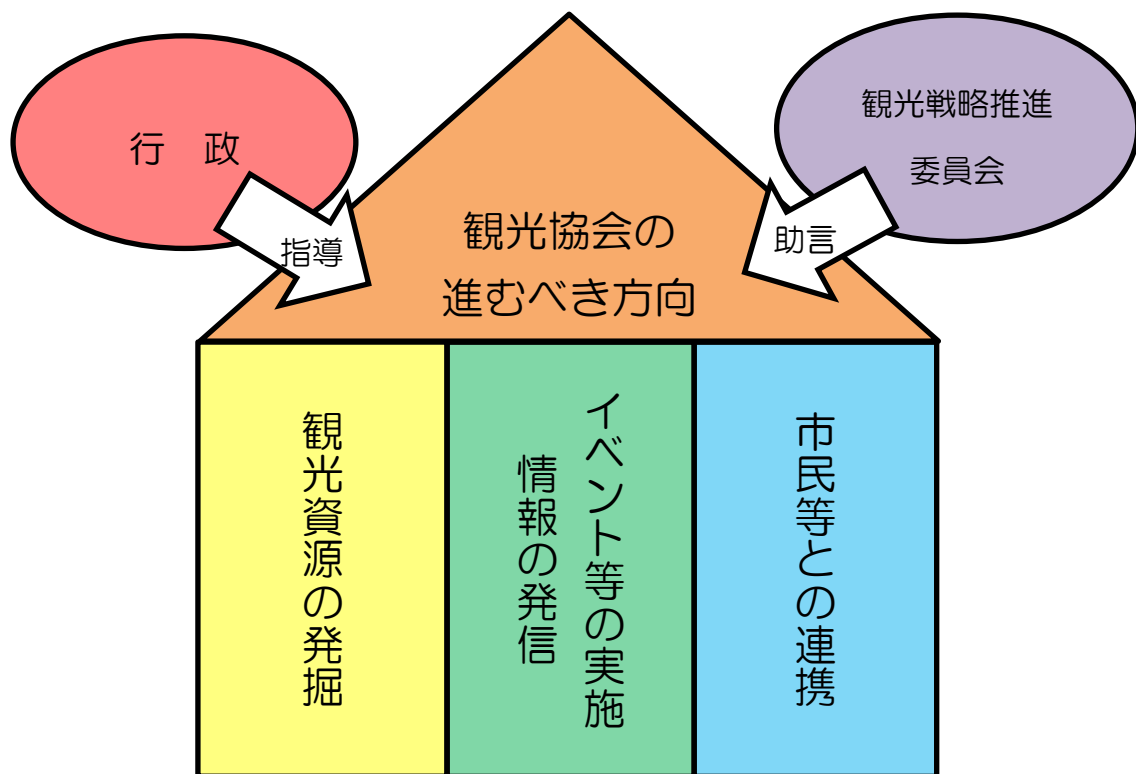
### 施策 5-1 観光協会・事業者の機能充実

#### 事業（1）観光協会の機能強化

平成25年7月にこれまで任意団体であった下野市観光協会が、社会的信用の獲得及び機動性の確保のため一般社団法人下野市観光協会となりました。今後は行政との役割分担を図り、さらなる機能強化を図ります。

行政は中長期的な視点に立って観光戦略の計画、評価を行い、観光協会は新たな観光資源の発掘、展開を図るとともに、地域の活性化を進める企画を積極的に推進するため、市民、関係団体、事業者との連携を図ります。

また、観光戦略推進委員会を設置し、外部から幅広く意見を取り込める体制を整備します。



観光協会機能強化のイメージ図

## 事業（２）観光事業従事者の資質向上

来訪者に対しおもてなしの心を持って接することが必要であることから、研修会等を実施し、観光事業従事者の資質向上及び人材育成を図ります。

- 展開事例
  - ・事業者向け啓発PR
  - ・天平の花まつり従事者等への研修会の開催

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）観光協会の機能強化	実施	→	→	→	→			○	○
（２）観光事業従事者の資質向上	実施	→	→	→	→		○	○	

## 施策 5-2 観光プロモーションの推進

### 事業（１）観光協会ホームページの充実

平成25年にリニューアルした観光協会HPを、情報量、更新頻度を高めるなど、今後さらに充実・発展させ、下野市の魅力の積極的なPRを推進します。

- 展開事例
  - ・下野市観光協会HPの充実

宇都宮餃子、とちおとめ、かんぴょうを応援するご当地アイドルユニット

### まろに☆え～る

### 事業（２）マスメディアの積極的活用

マスメディア等を利用し観光宣伝を推進して、下野市の観光情報の一層の発信を図ります。

- 展開事例
  - ・とちぎテレビ、下野新聞、エフエム栃木などとのタイアップによるPR推進
  - ・フィルムコミッションの検討



©とちぎテレビ

### 事業（3）イメージキャラクターによる観光PRの推進

道の駅しもつけイメージキャラクターで下野市観光大使の「カンピくん」を活かし、カンピくんが市内外のイベントに参加したり、関連グッズの制作・販売などにより知名度を向上させ、市のイメージアップと観光PRを推進します。



カンピくんグッズ

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1)観光協会ホームページの充実	実施	→	→	→	→			○	
(2)マスメディアの積極的活用	実施	→	→	→	→			○	○
(3)イメージキャラクターによる観光PRの推進	実施	→	→	→	→		○	○	○

### 施策 5-3 観光まちづくりリーダー育成

#### 事業（1）地域活性化リーダーの育成

地域を巻き込み、仲間をまとめ、活動を発展させていく、地域のリーダーの育成は、市民参加の観光まちづくりには不可欠です。さらに、地域の活性化は、観光業、サービス業、農畜産業、食品製造業、小売業、飲食店業等の観光関連産業が一体となって、はじめて実現されることから、これらを構築するコーディネーターの育成が求められます。

広い領域の事業に関する知識と洞察力を持ち、様々な人脈を生かして事業を実施できる将来コーディネーターになり得るリーダーを発掘・育成します。



商工会青年部主催のコンサート

- 展開事例
- ・ 商工会青年部への支援

## 事業（２）観光ボランティアへの支援

「下野薬師寺ボランティアの会」や「下野市天平の丘観光ガイドボランティアの会」などのボランティアへの支援を行い、多様化する来訪者へのサービス向上に努めます。



薬師寺ボランティアの会

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
（１）地域活性化リーダーの育成	検討	→	実施	→	→	○	○		○
（２）観光ボランティアへの支援	実施	→	→	→	→	○		○	○

## 施策 5-4 下野ファンの組織化

### 事業（１）来訪者の観光振興に向けた有効活用

市民だけでなく来訪者の力を借りて、観光まちづくりを進める仕組みづくりを進めるため、市内に点在する多くの観光施設やイベントにおいて、顧客の満足度調査等アンケートを実施し、基礎データとして活用します。

- 展開事例
  - ・来訪者アンケートの実施

### 事業（２）しもつけ観光ファンクラブの組織化

下野ブランドサポーターと連携した観光ファンクラブの組織化や、ファンの様々な交流活動を促進する取組について検討します。

- 展開事例
  - ・下野ブランドカフェの開催



下野ブランドカフェの様子



### 事業（3）自治医科大学関係者との連携

自治医科大学の学生・教職員などとの交流・連携を活発にして、在校生はもとより、全国で活躍する卒業生などに下野ファンになってもらうよう努めます。



自治医科大学

- 展開事例
  - ・下野ブランドサポーターへの加入促進

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 来訪者の観光振興に向けた有効活用	実施	➡	➡	➡	➡			○	○
(2) しもつけ観光ファンクラブの組織化	実施	➡	➡	➡	➡	○		○	○
(3) 自治医科大学関係者との連携	検討	実施	➡	➡	➡	○	○		○

### 施策 5-5 広域連携の促進

#### 事業（1）栃木県との取組

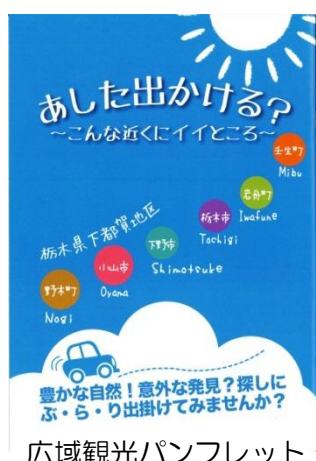
栃木県観光物産協会や栃木県アンテナショップ運営会議などへ参加し、県内外へのPR活動を推進します。

- 展開事例
  - ・(公社)栃木県観光物産協会への加入
  - ・とちまるショップ（東京スカイツリーソラマチ内）への出展
  - ・「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン推進協議会との連携



とちまるショップ

## 事業（２）他地域との取組



広域観光パンフレット

栃木県南エリアや下都賀地区の他市町村と連携し、広域的な観光ルートとイベントを企画します。

- 展開事例
  - ・ 広域スタンプラリー、広域パンフレットの作成
  - ・ 観光キャンペーン推進協議会DC誘致部会  
県南地域分科会への加入
  - ・ 下都賀地区広域観光開発推進協議会への加入

## 事業（３）姉妹都市等との交流

姉妹都市関係を結んでいるドイツヘルツタール市（ドイツ）や交流協定を結んでいる高松市（香川県）等と交流事業や物産展への相互参加を推進し、民間交流を促進します。



高松市との歴史文化交流協定調印式

- 展開事例
  - ・ 下野市中学生海外派遣事業、姉妹都市学生受入事業
  - ・ 国際交流員によるドイツ語講座
  - ・ 高松市小学生派遣事業、高松市団体間の交流事業、高松市訪問団受入
  - ・ 宮城県亘理町との交流事業

事業名	実施時期（年度）					実施主体			
	26	27	28	29	30	市民	事業者	観光協会	市
(1) 栃木県との取組	実施	➡	➡	➡	➡			○	○
(2) 他地域との取組	実施	➡	➡	➡	➡			○	○
(3) 姉妹都市等との交流	実施	➡	➡	➡	➡	○			○



# 第5章 計画の推進

## 1. 計画推進と進捗評価の考え方

### (1) 計画推進の考え方

下野市観光振興計画を推進していくためには、市民・事業者・観光協会・市が深くかかわり、各々がその役割を明確にし、着実に取り組むとともに、相互に連携することが求められます。また、下野市の観光が向うべき方向性を共有し、下野市の新たな魅力のために協調していくことが必要です。

### (2) 進捗管理

策定された計画を現実のものにしていくためには、施策の進捗状況や目標に向けた行動が行われているか庁内会議等を開催し、計画推進に向けたチェックを行います。

また、来訪者のニーズは時代とともに変化していきます。このため、天平の花まつりをはじめとする各種イベント等実施の際に満足度や要望を伺うアンケートを実施するなど、広く意見等を聴取し、計画に反映することが必要です。

このため、意見等を計画にフィードバックすることにより、施策の内容を点検し、計画の修正や推進体制の変更など柔軟な対応を図ります。

## 2. それぞれの役割

### (1) 市民の役割

市民は、継続的な観光振興のための地域づくりの主体的な役割を担います。地域の良さを発見し、その魅力を発信し、また、来訪者への積極的なおもてなしなど、観光振興の推進における中心的な担い手となることが期待されます。

## (2) 事業者の役割

事業者は、これまでの慣例にとらわれず、自分たちにできることを意識することで、それぞれの持つ得意分野を活かす形で、観光振興の推進における様々な取組に参加することが望まれます。

特に小規模事業者を支援している商工会は、会員組織や部会組織などを利用し、地域資源を活かした新しい観光土産品の開発、飲食店の活性化などを積極的に行うことで、それぞれが持つノウハウを活かした下野市の観光推進の一翼を担います。

## (3) 観光協会の役割

観光の振興を推進する関係諸団体と連携し、それぞれの強みを活かすことで戦略的な観光振興と、積極的な情報の発信を行います。

市との役割分担を明確にし、市で策定した計画や観光施策を実現するため、観光事業の宣伝紹介、観光客の誘致、特産品や文化財等の観光資源の保護開発、観光施設の管理、観光出版物の刊行、他の観光関係機関との連絡協調、観光に関する調査研究などの事業を積極的に行います。

また、一般社団法人としてスピードと対応力の高さを生かした独自の事業展開を進めます。

## (4) 市の役割

事業推進ため、観光振興に関する総合的な計画を策定し、観光施策を推進するため、様々な支援を積極的に行います。

また、これら施策を効果的に実施するために、多様な情報の収集と県や他の自治体との広域的な連携協力を図り、各施策を包括的にまとめ、下野市の観光のコーディネーター役を担います。

資料1 下野市観光振興計画における各施策の行政所管課等一覧

基本施策1 「まほろば」の環境を楽しむ	行政所管課等
施策 1-1 古代からつながる歴史と文化を伝える 【重点施策】	
事業（1）誇れる歴史と文化の伝承	文化課
事業（2）歴史に親しむプロジェクトの実施	文化課
施策 1-2 花のあるまちづくり	
事業（1）花のあるまちづくり	商工観光課 都市計画課 学校教育課 生涯学習課
事業（2）咲く花マップの作成	商工観光課
事業（3）花の名所休憩施設整備	商工観光課 都市計画課 文化課
施策 1-3 自然豊かな緑と川を守り育む	
事業（1）緑のエリアの観光資源化	商工観光課 都市計画課 文化課 スポーツ振興課
事業（2）川と水辺を守る活動	建設課
事業（3）自治体連携による河川の浄化活動	建設課 下水道課
施策 1-4 田園の自然に親しめる観光まちづくり	
事業（1）農産物や田園風景の観光資源としての活用	商工観光課
事業（2）自然環境関連団体との連携	環境課 農政課
施策 1-5 ピクニックタウンづくり	
事業（1）ピクニックマップの作成	商工観光課
事業（2）観光カレンダーの作成	商工観光課
事業（3）観光自転車の整備	商工観光課
基本施策2 新しい楽しさを創る	
施策 2-1 地域イベントの振興	
事業（1）小さなイベントの発掘	商工観光課 文化課
事業（2）市民イベントの応援	商工観光課 総合政策課 生涯学習課 スポーツ振興課
施策 2-2 市内周遊による観光の創造 【重点施策】	
事業（1）ストーリー性のある周遊ルートの創出	商工観光課

	事業（２）観光ルートの再構築	商工観光課
施策 2-3 道しるベシステムの構築		
	事業（１）観光案内看板等の整備・充実	商工観光課 都市計画課 文化課
	事業（２）オアシスポップ館のインフォメーション機能の強化	総合政策課 商工観光課
施策 2-4 安心・安全なまちのPR		
	事業（１）安心感の持てるまちPR事業	総合政策課
基本施策3 市民主体の観光まちづくり		
施策 3-1 道行く人のための花の一鉢運動		
	事業（１）花によるお出迎え活動	商工観光課
	事業（２）景観向上活動	都市計画課 農政課
	事業（３）オープンファーム・オープンガーデン	農政課 商工観光課
施策 3-2 テーマ別観光まちづくりクラブ		
	事業（１）観光まちづくりにかかわる仕事を開発	環境課 商工観光課 建設課
	事業（２）テーマ別観光まちづくりクラブの育成	生涯学習課 文化課
	事業（３）ボランティアスタッフの活動の場の提供	商工観光課 文化課 スポーツ振興課
施策 3-3 観光まちづくり学習の推進		
	事業（１）郷土学習の推進	商工観光課 学校教育課
	事業（２）しもつけ検定事業	総合政策課 商工観光課 文化課
施策 3-4 あいさつ推進運動の展開		
	事業（１）あいさつ推進運動の展開	商工観光課 教育総務課
基本施策4 観光まちづくり産業を育む		
施策 4-1 体験型農業、対面型農産物販売等の振興		
	事業（１）体験型農業・対面型農産物販売の実施	農政課 商工観光課 学校教育課
	事業（２）「道の駅しもつけ」における下野市産農産物等の提供	農政課 商工観光課

施策 4-2 商店・商工会の活用		
事業（１）地元商店等の育成		農 政 課 商工観光課
事業（２）空き店舗の有効活用		商工観光課
事業（３）商工会との連携		商工観光課
施策 4-3 工場見学の推進		
事業（１）工場見学の推進		商工観光課 学校教育課
施策 4-4 地域ブランドづくり【重点施策】		
事業（１）下野市の魅力のPR		商工観光課
事業（２）かんぴょうPR活動		農 政 課
事業（３）下野ブランド推進事業		商工観光課 財 政 課
基本施策5 観光まちづくり推進の仕組づくり		
施策 5-1 観光協会・事業者の機能充実		
事業（１）観光協会の機能強化		商工観光課
事業（２）観光事業従事者の資質向上		商工観光課
施策 5-2 観光プロモーションの推進		
事業（１）観光協会ホームページの充実		商工観光課
事業（２）マスメディアの積極的活用		総合政策課 商工観光課
事業（３）イメージキャラクターによる観光PRの推進		商工観光課
施策 5-3 観光まちづくりリーダー育成		
事業（１）地域活性化リーダーの育成		農 政 課 商工観光課
事業（２）観光ボランティアへの支援		商工観光課 文 化 課
施策 5-4 下野ファンの組織化		
事業（１）来訪者の観光振興に向けた有効活用		商工観光課
事業（２）しもつけ観光ファンクラブの組織化		商工観光課
事業（３）自治医科大学関係者との連携		商工観光課
施策 5-5 広域連携の促進		
事業（１）栃木県との取組		商工観光課
事業（２）他地域との取組		商工観光課
事業（３）姉妹都市等との交流		生活安全課



資料2 計画策定までの経過

期 日	会議名等	備 考
H25. 3.21	第1回下野市観光振興計画策定委員会	委嘱状交付、計画策定方針、計画策定員の役割、下野市の誇るべき観光資源
H25. 7.11	計画策定委員、検討部会委員合同勉強会	熱海市観光基本計画を資料に、橋立先生による学習会
H25. 7.31	第2回下野市観光振興計画策定委員会	計画タイトル、目指すべき将来像、計画案の柱、重点施策への意見提示
H25. 9.25	第3回下野市観光振興計画策定委員会	計画タイトル、目指すべき将来像、計画案の柱、重点施策への意見提示
H25.10.24	第4回下野市観光振興計画策定委員会	観光振興計画案の検討
H25.12.24	第5回下野市観光振興計画策定委員会	検討部会意見検討
H26. 7. 8	第6回下野市観光振興計画策定委員会	観光振興計画案の検討
H26. 8.1-15	パブリックコメント実施	
H26. 9.	下野市観光振興計画策定	

**基本施策1「まほろば」の環境を楽しむに係る意見**

- ・下野市周辺は地域ごとにまとまった古墳文化が栄えた地域であり、寺院の時代に入ると薬師寺の創建、その後の聖武天皇の命によって国分寺が創建されていく過程で、この地域が最も輝きを放っていた時代と言えます。我々は、この歴史の流れに思いを馳せ、天平の丘公園に訪れる人々にこの地域の歴史をPRしていく義務を負っていると考えます。〈施策1-1〉
- ・老若男女が理解しやすい下野歴史解説書の作成を望みます。〈施策1-1〉
- ・歴史を題材にした劇、読み語り、歴史をイメージした曲、踊り（ダンス）などの募集（コンテスト）をやりたいと思います。良い作品は天平の花まつりのステージで発表、お披露目します。〈施策1-1〉
- ・親しみやすいドラマのような歴史解説書の作成は大変結構な趣旨ですが、歴史には史実があり大切にしなければなりません。十分に史実を把握した上でないと解説書は作れません。まして、ドラマのような筋立てとなると難しいと思います。〈施策1-1〉
- ・花の写真コンテストを実施し、花マップに掲載するのもよいと思います。〈施策1-2〉
- ・しもつけの野菜や果物を箱詰めした野菜セットをインターネットで販売します。季節（毎月）毎に組み合わせを変えて、旬のおいしい野菜を市場価格より安く提供します。道の駅での販売もあり、季節のたよりとして観光マップも添えます。〈施策1-4〉
- ・古代のハイウェイ『東山道』巡りウォーキングマップを作りたいと思います。〈施策1-5〉
- ・マップ作成時には、コースごとのキロ数や歩数、時間等およその数も記入し、見所ポイント、ビューポイントにイラストや写真、一言を入れても良いと思います。〈施策1-5〉
- ・市HPでハイキングコース体験者の声や写真をのせるのも良いです。〈施策1-5〉

**基本施策2 新しい楽しさを作るに係る意見**

- ・各地区に残る謎を洗い出し探索するイベント、七不思議発見ウォーキングを実施したいと思います。〈施策2-1〉
- ・『しもつけかるた』の原風景探しをテーマにしたハイキングコースを作るのも良いと思います。〈施策2-2〉
- ・下野市の自然発見イベント（トウサワトラノオ観察会、ホテル観賞会、カワセミ観察会等）をテーマにしたコースづくり。〈施策2-2〉

**基本施策3 市民主体の観光まちづくりに係る意見**

- ・道端に色々な花の木を植えて季節ごとに花を楽しむことが出来るよう、道に面した住宅に協力を仰ぐことも一つの方法かと思います。〈施策3-1〉

- ・市民も楽しめる参加型イベントとして花の寄せ植え体験を市民農園クラブハウスなどで開催したいと思います。〈施策 3-1〉
- ・花の一鉢運動の推進には、自治会や老人会の強烈的な協力をお願いすることになると思います。〈施策 3-1〉
- ・下野市の歴史に造詣の深い皆さんをメンバーとし、小中学校の副読本となるような親しみやすい解説書をテーマごとに多数作成したいと思います。〈施策 3-3〉
- ・『しもつけかるた』を活用し、地元再発見や観光資源のPRを推進します。〈施策 3-3〉
- ・観光まちづくり学習に関する公民館講座を開催し、年1～2回の講演もやりたいと思います。〈施策 3-3〉
- ・まちづくりについて、小中学生や一般市民を対象に「夢のあるまち」の作文や絵のコンテストを実施したいと思います。〈施策 3-3〉
- ・しもつけ検定は年2回とし、検定時にアンケートも「どんなまちにしたいか」、「自分に何ができるか」を実施したいです。〈施策 3-3〉

#### 基本施策4 観光まちづくりを育むに係る意見

- ・干瓢生産農家が年々減少するという問題があるなかで、観光協会、道の駅しもつけ、しもつけ地域活性化委員会などが表に立ち、予め買い取り量・買取価格などを取り決めた契約栽培農家を育成し、生産量確保を下支え出来ないか、検討プロジェクトの設置が望まれます。〈施策 4-1〉
- ・都会の人や非農業者に休耕畑を活用して、菜園などの農業体験をしていただけると良いと思います。〈施策 4-1〉
- ・農業体験に、単に野菜だけでなく、ゆうがおの栽培、収穫、かんぴょうの作り方も含めてはどうでしょうか。〈施策 4-1〉
- ・体験型農業の一環として、簡単なコンテナガーデンの作り方や狭い庭でもできるポタジェ作り講座を開催してはどうでしょうか。野菜を実際に育てることで農業に興味をもってもらえます。季節ごとの定期的な開催も良いと思います。〈施策 4-1〉
- ・世界一長い『かんぴょう巻き』チャレンジイベントを実施したいと思います。(ギネスブックへの挑戦) 〈施策 4-4〉
- ・一般消費者には使い道が限られていると誤解されているかんぴょうにも、多くの料理法があること、健康に極めて有効な栄養価のあることをパンフレットにしてPRすべきと思います。〈施策 4-4〉

#### 基本施策5 観光まちづくり推進の仕組づくりに係る意見

- ・観光協会が母体の農商工と自治会で「観光まちづくり協議会(仮)」を発足し、それぞれの良さを発揮しながら、連携もできる組織を作ってはいかがでしょうか。〈施策 5-1〉

- 下野市の観光協会も一般社団法人下野市観光協会へと法人化され、観光協会を核に更なる一歩を進めることが期待されます。
- 下野市観光振興計画の中には、自分の知らないことが眠っており、少しずつこれらにスポットライトを当てて光を差し込んでいけばきっと大きなものへと発展していくと思います。ローマは一日してならず です。〈施策 5-1〉
- 下野市が観光事業を市発展の手段とするならば、先ず市観光協会の機能を充実させる必要があります。そのためには、組織体制の強化を図って、市文化協会、市国際交流協会はじめ民間ボランティアの皆さんが主力の「しもつけ地域活性化委員会」、「下野ウインター活性化委員会」など市内外からの誘客に関わりの深い団体の各種行事に積極的に参画することで、観光協会事業に厚みと深さが生まれ展望も開けてくるものと思われます。〈施策 5-1〉
- 観光協会の体制強化には、それなりの財的強化が必要となるが、これについても各種団体との協調が進化することによって、市内外からの拠出金を期待することができ、市からの補助金を抑制する効果も期待できるのではないのでしょうか。〈施策 5-1〉
- 「かんぴょう」や「カンピくん」の歌や踊り（ダンス）を募集し、市外でのPRに利用したいと思います。〈施策 5-2〉

#### 全体を通しての意見

- 5つの柱を掘り下げるため、当市の観光資源が出揃ってきた訳だから、これらをどう料理、加工して市民、来訪者に提供するかを多面的に考える必要があります。
- 観光振興計画は立派な内容なので、これをどう優先順位をつけて実行してゆくかが重要だと思います。画餅にしない様しっかり取り組んでほしいと思います。
- 全体としてPR不足を感じております。従って、観光振興計画、重点プロジェクトを実施するにあたり、これらを一括してPRする箇所、あるいはプロジェクトを明確にする、設けることが必要かと思われます。
- 観光振興計画の策定に参加した者として、立派な計画が出来上がったと思います。指導の先生、各分野の専門家、事務局の皆さんには、私のように観光について全く不案内な者でもよく話を聞いてくださったと思います。大切なことは、この計画に基づいて市民が主体となる観光を浸透させるように、四方に手足を伸ばしていく実践だと思われます。

#### 資料4 下野市観光振興計画策定委員会設置要綱

##### (設置)

第1条 観光の振興を図る施策展開の指針となる下野市観光振興計画（以下「計画」という。）を策定するため、下野市観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

##### (所掌事務)

第2条 委員会は、計画の策定に関する事項について協議し、その結果を市長に報告する。

##### (組織)

第3条 委員会は、委員13人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 識見を有する者

(2) その他市長が適当と認める者

##### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画の策定の日までとする。

##### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により決定する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

##### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数の時は、委員長の決するところによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。



(検討部会)

第7条 委員会の所掌事務を補佐するため、委員会に検討部会を置く。

2 検討部会の部会員は、産業振興部長、商工観光課長及び別表に掲げる課に所属する職員のうち、その長が指名する者をもって構成する。

3 検討部会に部会長及び副部会長を置き、部会長には産業振興部長、副部会長には商工観光課長をもって充てる。

4 検討部会は、部会長が招集し、その議長となる。

5 検討部会は、必要に応じ、会議に部会員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、産業振興部商工観光課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って決める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成25年1月17日から施行する。

(招集の特例)

2 第6条の規定に関わらず最初に開かれる委員会は市長が招集する。

別表(第7条関係)

総合政策課、環境課、生活安全課、農政課、都市計画課、社会福祉課 生涯学習課、文化課、スポーツ振興課
--

資料5 下野市観光振興計画策定委員会委員名簿

	氏 名	所 属 団 体	
		名 称	備 考
1	山 根 勉	下野市商工会	
2	上 野 光 春	石橋商工会	
3	小 林 利 孝	下野市文化財保護審議会	
4	倉 井 礼 子	花まつり出店協力会	
5	渡 辺 雅 浩	東日本旅客鉄道株式会社	
6	池 田 和 之	下野薬師寺ボランティアの会	
7	吉 成 孝 郎	下野市天平の丘観光ガイドボランティアの会	
8	江 田 小 百 合	平美林会	
9	伊 澤 敬 一 郎	(一財)グリムの里いしばし	副委員長
10	小 島 和 吉	しもつけ地域活性化委員会	
11	鈴 井 祐 孝	下野市を元気にする会	
12	橋 立 達 夫	作新学院大学	委員長

# 下野市観光振興計画

平成26年 9月

発 行

下野市産業振興部商工観光課

栃木県下野市田中681番地1

電話 : 0285-48-2112

e-mail : syoukoukankou@cty.shimotsuke.lg.jp